

メキシコ政治情勢（11月）

〔概要〕

【内政】

- 1日、エル・フィナンシエロ紙が、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表。ロペス・オブラドール大統領の支持率は、56%で前月比±0%。
- 13日、選挙制度改革に反対するデモが開催。
- 18日、軍の治安従事期間の延長に係る憲法改正が公布された。
- 27日、第四次変革を支持するデモが開催。

【外交】

- 9日、エブラル外相がシャーマン米 국무次官と会談。
- 12～14日、「エ」外相がCOP27に出席。
- 15日、「エ」外相が「ロ」大統領の代理としてG20首脳会合に出席。
- 17日、「エ」外相がトルコを訪問し、チャヴシュオール・トルコ外相と会談。
- 23～24日、メキシコ市で太平洋同盟関連会合が開催。
- 24日、ブエンロストロ経済相がイン加国際貿易等担当大臣と会談。
- 24日、ラッソ・エクアドル大統領が訪墨。
- 25日、ポリッチ・チリ大統領が訪墨。
- 25日、ペトロ・コロンビア大統領が訪墨。
- 26日、メキシコ市でベネズエラ政府側・反政府側の会合が開催。

【内政】

1 世論調査結果

(1) 1日、エル・フィナンシエロ紙が、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表。「ロ」大統領の支持率は56%で前月比±0%。不支持率は43%で前月比+1%。

(10月7～8日及び21～22日に、全国の有権者1,100名を対象に電話で調査を実施。誤差±3.0%。)

ア 「ロ」大統領の取組を支持するか。

- ・ 支持する：56%（前回（9月、以下同じ）56%）
- ・ 支持しない：43%（前回42%）

イ 各分野における「ロ」政権の取組を如何に評価するか。

- ・ 経済
 - とても良い、又は良い：31%（前回26%）
 - とても悪い、又は悪い：56%（前回56%）
- ・ 治安対策

とても良い、又は良い：30%（前回25%）

とても悪い、又は悪い：56%（前回60%）

・汚職対策

とても良い、又は良い：35%（前回31%）

とても悪い、又は悪い：46%（前回49%）

・USMCA

とても良い、又は良い：47%（前回36%）

とても悪い、又は悪い：32%（前回30%）

ウ エネルギー分野での修正に関するUSMCAの協議について、「ロ」大統領の取組をどう評価するか。

・とても良い、又は良い：71%

・とても悪い、又は悪い 28%

エ 以下の大統領に期待される特質について「ロ」大統領を好評価するか。

・誠実さ：55%（前回57%）

・リーダーシップ：49%（前回51%）

・結果を出す能力：44%（前回43%）

オ インフレについてどう感じているか。

・とても良い、又は良い:21%（前回14%）

・とても悪い、又は悪い：68%（前回70%）

カ メキシコは良い方向に向かっているか。

・良い方向に向かっている：34%（前回7月39%）

・悪い方向に向かっている：33%（前回7月37%）

（2）15日 エル・フィナンシエロ紙は、明年のメキシコ州知事選挙に向けた世論調査結果を発表。野党連合に投票するとの回答が46%、与党連合に投票するとの回答は43%。

（3）16日 エル・フィナンシエロ紙は、明年のコアウイラ州知事選挙に向けた世論調査結果を発表。野党連合に投票するとの回答が47%、与党連合に投票するとの回答は43%。

（4）22日、エル・フィナンシエロ紙は、2024年大統領選挙に向けた世論調査結果を発表。本日が大統領選挙の投票日であった場合、いずれの政党に投票するかとの質問に対し、MORENAが45%、PANが18%、PRIが14%であった。連合毎では、与党連合が49%、野党連合が37%であった。また、MORENAの大統領候補となつてほしい人物はとの質問に対しては、シェインバウム・メキシコ市長との回答が28%、エブラル外相との回答が24%、ロペス内相との回答が14%、モンREAL上院政策調整委員長との回答が9%であった。

(5) 28日、エル・ユニベルサル紙は、大統領支持率等に係る世論調査結果を発表。「ロ」大統領の支持率は64%で前回(8月、以下同じ)比+2%。不支持率は28%で前回比-4%であった。

2 選挙制度改革に反対するデモ行進

13日、現政権の選挙制度改革の取組(主要な争点は、連邦議会議員の定数削減、選挙管理公職者の直接選挙による選出、及び選挙キャンペーン期間以外の政党交付金の撤廃)に反対するデモ行進が開催され、PRI、PAN等の主要野党政治家等を含む約20万人が参加(主催者発表)。

3 軍の治安従事期間延長に係る憲法改正

18日、軍の治安従事期間の延長に係る憲法改正が公布された。2019年3月の憲法改正により国家警備隊が創設された際に挿入された期限付き附則第5条(artículo quinto transitorio:「国家警備隊がその構造、能力及び領土的展開を発展させる間、5年間にわたり(注:2024年まで)、軍の治安対策業務への従事を可能とする」との内容)につき、「9年間にわたり」(注:2028年まで)と改正することを主な内容とする。同改正案を提出したPRIの議員は、期間延長の必要性を治安情勢の悪化に鑑みたためと説明した。

今次憲法改正案は、9月15日、連邦下院を通過、10月4日、連邦上院を通過(注:憲法の改正には、上下両院で出席議員の3分の2以上の賛成が必要)した。上下両院において、PRI議員の多くが賛成票を投じた。その後、24の州議会で憲法改正内容が承認され(注:憲法改正には、連邦上下両院での承認の後、32州中17州以上の州議会での承認が必要)、官報で公布された。

4 第四次変革を支持するデモ行進

27日、「ロ」大統領は、就任4周年記念のデモ行進を招集し、支持者ら約120万人が参加(メキシコ市政府発表)。大統領は、行進後に憲法広場で記念演説を行い、再選は希望しない旨言明。また、現政権の政治モデルを「メキシコの人道主義」と名付ける旨発表。

【外交】

1 エブラル外相とシャーマン米国務次官の会談

9日、「エ」外相は、シャーマン米国務次官と会談を行った。「エ」外相は、次回の北米首脳会合における墨政府の優先事項は、経済、競争力、情報通信技術分野における投資移転及び治安である旨、並びにメキシコへの武器密輸を減らすことが両国にとって重要である旨を強調した。両国代表団は、墨米ハイレベル経済対話に係る取組を継続し、米国のCHIPS法及びインフレ抑制法によってもたらされる機会を活用すること、また、半導体、

医療機器、エレクトロモビリティのサプライチェーンを強化するために民間セクターと協働することで合意した。

2 「エ」外相のCOP27出席

12～14日、エブラル外相は、国連気候変動枠組条約第27回締約国会議（COP27）に出席し、ケリー米国気候変動特使の同席の下、今後数年間の気候変動への対処に係るメキシコの具体的なコミットメント（①今後8年間で温室効果ガス排出量の削減率を22%から35%に増加、②480億ドルの投資、③炭素排出量の5,200万トン削減、④2030年までにクリーンエネルギー発電量を倍増（40GW増）、⑤2050年までに墨米両国での温室効果ガス排出量ネットゼロを達成）を発表した。

3 「エ」外相のG20首脳会合出席

15日、エブラル外相は、「ロ」大統領の代理としてG20首脳会合に出席。ロシア、ウクライナ、及びG20の首脳に対して、敵対行為の停止を可能とする対話を直ちに進めるよう呼びかけた。また、気候変動対策とエネルギー安全保障のために、2025年まで少なくとも年間1,000億ドルの途上国向け資金を動員する努力を呼びかけた。その他、MIKTA（インドネシア、韓国、トルコ、オーストラリア）首脳会合に出席し、ジョリー加外相及びアルバレス西外相とそれぞれ二国間会談を行った。

4 「エ」外相のトルコ訪問

17日、エブラル外相は、トルコを訪問し、チャヴシュオール・トルコ外相と会談を行った。両外相は、二国間の戦略的パートナーシップを再確認し、貿易及び投資の機会、空路接続性等を強調した。また、両外相は、二国間ハイレベル委員会第2回会合を主催し、二国間の経済・文化的協力を強調する共同宣言を採択した。

5 太平洋同盟関連会合の開催

23～24日、メキシコ市で太平洋同盟関連会合が開催され（23日高級事務レベル会合、24日閣僚会合）、この機会に林外務大臣から太平洋同盟に向けたビデオメッセージが発出された。なお、当初25日に開催予定であった首脳会合は、次期議長国のペルー大統領の欠席（注：議会が出国許可を出さなかった）を理由として、「ロ」大統領の提案により、延期された。

6 墨加経済（開発）大臣会談

24日、訪墨したイン加国際貿易・輸出促進小規模ビジネス・経済開発担当大臣は、ブエンロストロ経済大臣と会談。カナダ側は、本会合に係わるプレスリリースにおいて、「イン大臣は、USMCAの協議で提起されたメキシコのエネルギー部門の改革措置に関する

懸念を解決したいというカナダの強い願いを伝え、カナダがこの問題を解決するために利用可能な他のオプションを検討し得ることを明らかにした」旨発表した。

7 ラッソ・エクアドル大統領の訪墨

24日、ラッソ・エクアドル大統領が訪墨し、「ロ」大統領と会談を行った。両大統領は、墨エクアドル生産統合協定の署名に向けた交渉の進展の重要性に一致し、2023年前半の両国の相互利益に関する協議メカニズム第7回会合の開催、及び墨エクアドル麻薬密売・中毒対策協力委員会の再活性化の推進に合意した。メキシコ側は、エクアドルの太平洋同盟への加盟を改めて支持した。また、「ラ」大統領は、「ロ」大統領がエクアドルを公式訪問するよう招待した。

8 ボリッチ・チリ大統領の訪墨

25日、ボリッチ・チリ大統領が訪墨、「ロ」大統領と会談を行い、墨チリ共同宣言が発出された。同宣言では、教育、農業、保健、移民、環境等の分野での二国間及び三角協力の進展、多国間問題及び人権問題の協議メカニズムの強化、リチウム関連の技術開発促進へのコミットメント等が強調された。

9 ペトロ・コロンビア大統領の訪墨

25日、ペトロ・コロンビア大統領が訪墨し、「ロ」大統領と会談。両大統領は、貿易・投資の条件を改善するために必要な措置の策定、麻薬政策の再設計を目的とする国際ラテンアメリカ首脳会合の開催、基本食料等の生活必需品の価格を適正化する措置の推進に合意した。また、太平洋同盟を通じた貿易・協力関係の深化への意思、及び気候変動への適応のための協働意思を確認した。その他、メキシコは、コロンビア政府と民族解放軍（ELN）の協議会合における保証国としての招待を承諾した。

10 ベネズエラの政府側・反政府側会合

26日、メキシコ市において、ノルウェー政府の仲介の下、ベネズエラの政府側及び反政府側の会合が再開され、ベネズエラ国民の社会的保護のための部分的合意が署名された。

(了)